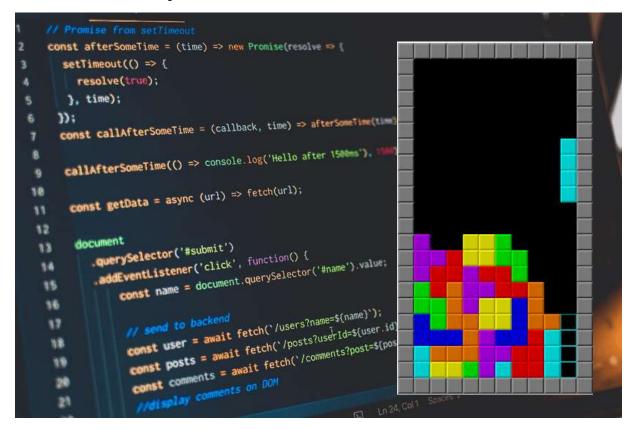
# Javascriptでテトリスを作ろう!



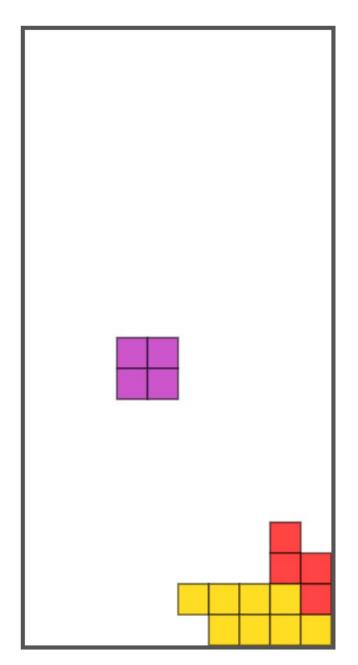
# 目次 ゲームの仕様

# テトリス作成に必要なAPIを覚えよう

- ・canvasの使い方
- ・ブロックを動かす
- ・タイマ処理

テトリスを作ろう

今回はjavascriptを使って、テトリスを作ってみます。 完成図は以下になります。



# 操作方法:

ブロックの左移動…カーソルキーの【←】 ブロックの右移動…カーソルキーの【→】 強制落下…カーソルキーの【↓】。一気に一番下まで落ちます。

ブロックの回転…スペースキー

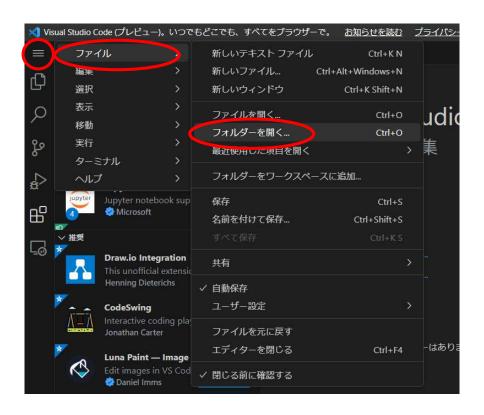
得点表示や操作方法の変更については、完成後に改造を行っていきます。

# プログラミングの準備

コードを書くためのエディタは、VsCodeを使用します。

https://vscode.dev/

アプリはダウンロードせず、ブラウザ上で使用します。 画面左上の3本線から、ファイル→フォルダを開く…を選択し テトリス作成用に渡した「tetoris」フォルダを選択してください



のアイコンをクリックし、以下のように表示されれば準備完了です。

# canvasを使って図形を描く

図形を表示するためにhtml/javascriptに以下を書いていきましょう。 図形を描くための領域(キャンバス)を指定する必要があります。 以下のプログラムを入力してください。

### canvas.js

```
const BLOCK_SIZE = 30;
                                                 //ブロック1個の大きさ(30px)
2
3
                                                 //ゲーム画面の横幅(ブロック10個分)
    const FIELD_COL = 10;
4
    const FIELD_ROW = 20;
                                                 //ゲーム画面の縦幅(ブロック20個分)
5
6
                                                 //表示領域[横] 30×10 = 300px
    const SCREEN_W = FIELD_COL * BLOCK_SIZE;
7
    const SCREEN_H = FIELD_ROW * BLOCK_SIZE;
                                                 //表示領域[横] 30×20 = 600px
8
9
    let can = document.getElementById("canvas");
#
                                                 //キャンバスの取得
#
    let con = can.getContext("2d");
                                                 //2dコンテキストを取得
    can.width = SCREEN_W;
                                                 //キャンバスの横幅を指定
    can.height = SCREEN_H;
                                                 //キャンバスの縦幅を指定
#
    can.style.border = "4px solid #555";
                                                 //キャンバスの枠線を指定
```

以下のように灰色の枠線が表示できればOKです。

# ブロック10個分の横幅 テトリス作成し ブロック1つが30px ブロック 2個分の縦幅

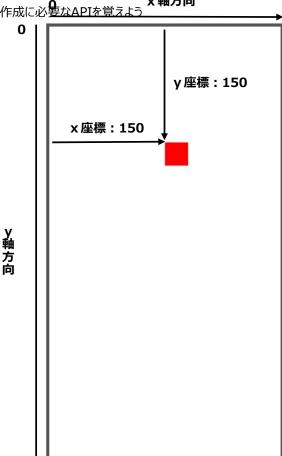
## canvasを使って図形を描く(ブロックの描画)

次に、先ほど作ったキャンバスにブロック1マス分の四角を描いてみましょう。 オレンジ色の箇所のプログラムを入力してください。

#### canvas.js

```
1
    const BLOCK_SIZE = 30;
                                                 //ブロック1個の大きさ(30px)
2
3
    const FIELD_COL = 10;
                                                 //ゲーム画面の横幅(ブロック10個分)
4
    const FIELD_ROW = 20;
                                                 //ゲーム画面の縦幅(ブロック20個分)
5
6
    const SCREEN_W = FIELD_COL * BLOCK_SIZE;
                                                 //表示領域[横] 30×10 = 300px
7
    const SCREEN_H = FIELD_ROW * BLOCK_SIZE;
                                                 //表示領域[横] 30×20 = 600px
8
9
#
    let can = document.getElementById("canvas");
                                                 //キャンバスの取得
#
    let con = can.getContext("2d");
                                                 //2dコンテキストを取得
    can.width = SCREEN W;
                                                 //キャンバスの横幅を指定
#
    can.height = SCREEN_H;
                                                 //キャンバスの縦幅を指定
    can.style.border = "4px solid #555";
                                                 //キャンバスの枠線を指定
#
#
    con.fillStyle="#F00";
                                                 //ブロックの色を赤に指定
    con.fillRect(150,150,BLOCK_SIZE,BLOCK_SIZE);
                                                 //x座標150,y座標150の場所に幅30,縦30の四角を描画
```





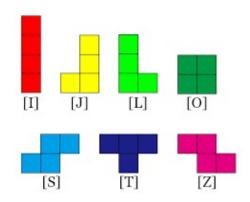
図形を表示する際、x座標/y座標の原点は 左上の角に(0,0)の座標が配置されます。

すべての要素がこの原点から配置されます。

よって赤のブロックは左から150ピクセル、上から150ピクセルの位置になります。

## canvasを使って図形を描く(テトロミノの描画)

テトリスに出てくる7種類のブロックを「テトロミノ」というようです。



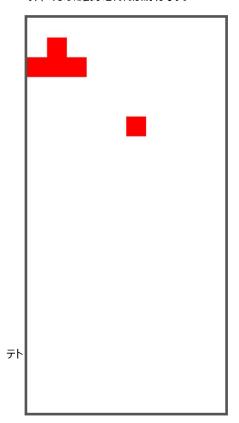
そのうちの1つをキャンバスに描画してみましょう。今回テトロミノのデータは配列を使って描画します。 オレンジ色の箇所のプログラムを入力してください。

#### canvas.js

```
const BLOCK_SIZE = 30;
1
                                                   //ブロック1個の大きさ(30px)
2
3
    const TETRO_SIZE = 4;
                                                   //配列の1辺の大きさ(4×4)
4
5
    const TETRO_TYPE = [
                                                   //T型のテトロミノ
6
       [0,0,0,0],
       [0,1,0,0],
テト
       [1,1,1,0],
8
9
       [0,0,0,0]
#
    1;
#
#
    const FIELD\_COL = 10;
                                                   //ゲーム画面の横幅(ブロック10個分)
#
    const FIELD_ROW = 20;
                                                   //ゲーム画面の縦幅(ブロック20個分)
#
#
    const SCREEN_W = FIELD_COL * BLOCK_SIZE;
                                                   //表示領域[横] 30×10 = 300px
#
    const SCREEN_H = FIELD_ROW * BLOCK_SIZE;
                                                   //表示領域[横] 30×20 = 600px
#
#
#
    let can = document.getElementById("canvas");
                                                   //キャンバスの取得
#
    let con = can.getContext("2d");
                                                   //2dコンテキストを取得
#
    can.width = SCREEN_W;
                                                   //キャンバスの横幅を指定
#
    can.height = SCREEN_H;
                                                   //キャンバスの縦幅を指定
#
    can.style.border = "4px solid #555";
                                                   //キャンバスの枠線を指定
#
#
    con.fillStyle="#F00";
                                                   //ブロックの色を赤に指定
#
    con.fillRect(150,150,BLOCK_SIZE,BLOCK_SIZE);
                                                   //x座標150,y座標150の場所に幅30,縦30の四角を描画
#
# for (let y = 0; y < TETRO_SIZE; y++) {</pre>
                                                   //テトロミノの描画
    for (let x = 0; x < TETRO_SIZE; x++) {
#
#
      if (TETRO_TYPE[y][x]) {
                                                   //配列の中身が"1"だった場合
#
         con.fillRect(x*BLOCK_SIZE, y*BLOCK_SIZE,
                                                   //四角を描画
#
           BLOCK SIZE, BLOCK SIZE);
#
#
```

## canvasを使って図形を描く(テトロミノの描画)

以下のように表示されれば成功です。



#### ポイント解説

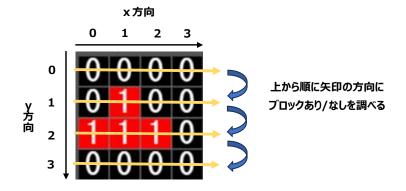
テトロミノの1つ1つを2次元配列で表現します。 ブロックがある場合を「1」、ない場合を「0」としています。

#### 



そして、キャンバスに描画するため、2重ループのfor文で上から順にブロックのあり/なしを調べていきます。

```
1
2 for (let y = 0; y < TETRO_SIZE; y++) {
3    for (let x = 0; x < TETRO_SIZE; x++) {
4        if (TETRO_TYPE[y][x]) {
5            con.fillRect(x*BLOCK_SIZE, y*BLOCK_SIZE, 6
            BLOCK_SIZE, BLOCK_SIZE);
7        }
8     }
9 }
```



## 矢印キーでテトロミノを移動する

キーイベントを利用して、テトロミノを移動してみましょう。 オレンジ色の箇所のプログラムを入力してください。

canvas.js

```
1
     const BLOCK_SIZE = 30;
                                                    //ブロック1個の大きさ(30px)
2
3
     const TETRO_SIZE = 4;
                                                    //配列の1辺の大きさ(4×4)
4
5
    const TETRO_TYPE = [
                                                    //T型のテトロミノ
6
       [0,0,0,0],
7
       [0,1,0,0],
8
       [1,1,1,0],
9
       [0,0,0,0]
#
     1;
#
#
     const FIELD COL = 10;
                                                    //ゲーム画面の横幅(ブロック10個分)
#
     const FIELD_ROW = 20;
                                                    //ゲーム画面の縦幅(ブロック20個分)
#
#
    const SCREEN_W = FIELD_COL * BLOCK_SIZE;
                                                    //表示領域[横] 30×10 = 300px
#
     const SCREEN_H = FIELD_ROW * BLOCK_SIZE;
                                                    //表示領域[横] 30×20 = 600px
#
#
     let offsetX = 0;
                                                    //テトロミノの移動量(x方向)
#
    let offsetY = 0;
                                                    //テトロミノの移動量(y方向)
#
#
    let can = document.getElementById("canvas");
                                                    //キャンバスの取得
テト
    let con = can.getContext("2d");
                                                    //2dコンテキストを取得
#
     can.width = SCREEN_W;
                                                    //キャンバスの横幅を指定
#
     can.height = SCREEN_H;
                                                    //キャンバスの縦幅を指定
#
     can.style.border = "4px solid #555";
                                                    //キャンバスの枠線を指定
#
#
                                                    //画面描画の関数を指定
     function drawAll() {
#
#
      for (let y = 0; y < TETRO_SIZE; y++) {
                                                    //テトロミノの描画
#
        for (let x = 0; x < TETRO_SIZE; x++) {
#
                                                    //配列の中身が"1"だった場合
          if (TETRO_TYPE[y][x]) {
#
             con.fillRect(
                                                    //四角を描画
             (offsetX+x)*BLOCK_SIZE,
(offsetY+y)*BLOCK_SIZE,
#
#
#
             BLOCK_SIZE, BLOCK_SIZE);
#
#
        }
#
      }
#
#
#
     document.addEventListener('keydown',
                                                    //イベント処理 キーが押されたとき
#
                                KeyDownFunc );
                                                    //KeyDownFunc関数を呼ぶ
#
     function KeyDownFunc(e){
#
       switch (e.keyCode) {
                                                    //キーコードを確認
#
         case 37:
                                                    //左キーを押した場合
#
#
           break;
#
                                                    //上キーを押した場合
         case 38:
           offsetY--;
#
#
#
         case 39:
                                                    //右キーを押した場合
           offsetX++;
#
#
           break;
#
         case 40:
                                                    //下キーを押した場合
           offsetY++;
break;
#
#
#
#
       drawAll();
#
```

# 矢印キーでテトロミノを移動する

矢印キーを押して、テトロミノが動けば成功です。

## ポイント解説

1 2

## document.addEventListener('keydown',KeyDownFunc );

「addEventListener」は、マウス操作やキーボード入力した際など、様々なイベント処理を行います。

- ①:イベントの種類を指定します('keydown'は、キーボードのキーを押した時になります)。
- ②:イベントが発生したときに呼ばれる関数

1回の移動で1ブロック分移動するように変数 offsetX/offsetYを用意しました。 キー操作をすることで、テトロミノを移動できます。

キーの種類とキーコードの対応表を以下に示します。 赤枠で囲った箇所が矢印キーのキーコードになります。

		アルファベット			数字		テンキー数字		テンキー記号		記号	
	A	65	0	79	0	48	T0	96	T*	106	:*	186
	В	66	P	80	1	49	T1	97	T+	107	;+	187
	С	67	Q	81	2	50	T2	98			,<	188
	D	68	R	82	3	51	T3	99	T-	109	-5	189
	Е	69	S	83	4	52	T4	100	T.	110	.>	190
	F	70	T	84	5	53	T5	101	T/	111	/?	191
Ì	G	71	U	85	6	54	T6	102			0,	192
	Н	72	٧	86	7	55	T7	103			[{	219
Ì	I	73	W	87	8	56	T8	104			¥	220
Ì	J	74	Х	88	9	57	T9	105			]}	221
\	K	75	Υ	89							A**	222
Ì	L	76	Z	90							¥_	226
Ì	М	77										
Ì	N	78										

ファンクションキ 制御丰 F1 (ヘルブ) 112 BackSpace 8 End 35 英数 240 F2 113 NumLock0FFのT5 12 Home 36 カタカナ/ひらがな 242 F3 (検索) 114 Enter / T Enter 13 Esc 243 F4 (アドレスバー) 115 Shift 16 38 半角/全角 244 17 39 F5 (更新) 116 Ctrl Tab 9 18 F6 (フォーカス) 117 Alt 40 F7 118 Pause 19 Insert 45 F8 119 変換 28 Delete 46 F9 120 無変換 29 91 F10 (Alt) 121 スペース 32 93 F11 (全画面) 33 144 122 PageUp NumLock 145 F12 123 PageDown 34 ScrollLock

テト

## タイマ処理でブロックを動かす

次にテトロミノを一定間隔で下に移動させてみます。 オレンジ色の箇所のプログラムを入力してください。

```
canva<u>s.js</u>
     const BLOCK_SIZE = 30;
                                                   //ブロック1個の大きさ(30px)
2
3
    const TETRO_SIZE = 4;
                                                   //配列の1辺の大きさ(4×4)
4
 5
                                                   //T型のテトロミノ
    const TETRO_TYPE = [
 6
       [0,0,0,0],
 7
       [0,1,0,0],
8
       [1,1,1,0],
9
       [0,0,0,0]
#
     1;
#
#
    const GAME_SPEED = 1000;
                                                   //ゲームスピード
#
#
    const FIELD_COL = 10;
                                                   //ゲーム画面の横幅(ブロック10個分)
#
    const FIELD_ROW = 20;
                                                   //ゲーム画面の縦幅(ブロック20個分)
#
#
    const SCREEN_W = FIELD_COL * BLOCK_SIZE;
                                                   //表示領域[横] 30×10 = 300px
#
    const SCREEN_H = FIELD_ROW * BLOCK_SIZE;
                                                   //表示領域[横] 30×20 = 600px
#
#
    let offsetX = 0;
                                                   //テトロミノの移動量(x方向)
#
    let offsetY = 0;
                                                   //テトロミノの移動量(y方向)
テトリス作成に必要なAPIを覚えよう
#
    let can = document.getElementById("canvas");
                                                   //キャンバスの取得
#
    let con = can.getContext("2d");
                                                   //2dコンテキストを取得
#
     can.width = SCREEN_W;
                                                   //キャンバスの横幅を指定
     can.height = SCREEN_H;
#
                                                   //キャンバスの縦幅を指定
#
     can.style.border = "4px solid #555";
                                                   //キャンバスの枠線を指定
#
#
    let timerID = setInterval(droptetro, GAME_SPEED);
                                                   //インターバル処理
#
                                                   //一定間隔でdroptetro関数を呼び出す
#
#
    function drawAll() {
                                                   //画面描画の関数
#
#
      for (let y = 0; y < TETRO_SIZE; y++) {
                                                   //テトロミノの描画
#
        for (let x = 0; x < TETRO_SIZE; x++) {
#
          if (TETRO_TYPE[y][x]) {
                                                   //配列の中身が"1"だった場合
#
            con.fillRect(
                                                   //四角を描画
#
            (offsetX+x)*BLOCK_SIZE,
#
            (offsetY+y)*BLOCK_SIZE,
######
            BLOCK_SIZE, BLOCK_SIZE);
          }
        }
      }
#
    function droptetro() {
                                                   //テトロミノを一定間隔で下に移動
#
       offsetY++;
                                                   //ブロックのY座標を1ブロック分下に指定
#
       drawAll();
                                                   //画面描画関数を呼ぶ
#
#
#
                                                   //イベント処理 キーが押されたとき
     document.addEventListener('keydown',
#
                              KeyDownFunc );
                                                   //KeyDownFunc関数を呼ぶ
#
    function KeyDownFunc(e){
#
       switch (e.keyCode) {
                                                   //キーコードを確認
#
         case 37:
                                                   //左キーを押した場合
#
           offsetX--;
           break;
#
         case 38:
                                                   //上キーを押した場合
#
           offsetY--;
#
           break;
#
         case 39:
                                                   //右キーを押した場合
#
#
           offsetX++;
           break;
#
         case 40:
                                                   //下キーを押した場合
#
           offsetY++;
#
           break;
#
       drawAll();
```

# タイマ処理でブロックを動かす

0.5秒ごとにテトロミノが下に移動すれば成功です。

## ポイント解説

1 2

## setInterval(droptetro, GAME\_SPEED);

「setInterval」は、一定間隔で関数を呼び出すことが出来ます。

- ①:イベントが発生したときに呼ばれる関数
- ②:タイマ値(単位はミリ秒)。例えば1000と指定した場合は1秒になります。

テトリス作成に必要なAPIを覚えよう

# テトリスを作ろう

tetoris.htmlより、8行目のコメントを外し、9行目をコメント化してください。

以下がテトリスのプログラムになります。 tetoris.jsに入力していきましょう。

## tetoris.js

```
1 const BLOCK_SIZE = 30;
                                                    //ブロック1個の大きさ(30px)
 2
 3 const TETRO_SIZE = 4;
                                                    //配列の1辺の大きさ(4×4)
 4
                                                    //ゲーム画面の横幅(ブロック10個分)
 5 const FIELD_COL = 10; //幅
 6 const FIELD_ROW = 20; //高さ
                                                    //ゲーム画面の縦幅(ブロック20個分)
 7
 8 const SCREEN W = FIELD COL * BLOCK SIZE;
                                                    //表示領域「横] 30×10 = 300px
 9 const SCREEN_H = FIELD_ROW * BLOCK_SIZE;
                                                    //表示領域[横] 30×20 = 600px
10
                                                    //テトロミノの色
11
   const TETRO_COLOR =[
     "#000",
12
                                                    //0:空
13
     "#6CF",
                                                    //1:水色
14
     "#F92",
                                                    //2:オレンジ
15
     "#66F",
                                                    //3:青
16
     "#C5C",
                                                    //4:紫
17
     "#FD2",
                                                    //5:黄色
18
     "#F44",
                                                    //6:赤
19
     "#5B5",
                                                    //7:緑
20 ];
21
                                                    //テトロミノの型
22 const TETRO_TYPE = [
23
                                                    // 0:空データ
     [],
24
                                                    // 1:I型
25
      [0,0,0,0],
26
      [1,1,1,1],
27
      [0,0,0,0],
28
      [0,0,0,0]
29
     ],
30
                                                    // 2:L型
31
      [0,1,0,0],
32
      [0,1,0,0],
      [0,1,1,0],
33
34
      [0,0,0,0]
35
     ],
```

```
36
                                                     // 3:J型
37
      [0,0,1,0],
38
      [0,0,1,0],
39
      [0,1,1,0],
40
      [0,0,0,0]
41
     ],
42
     // 4:0型
43
      [0,0,0,0],
44
      [0,1,1,0],
45
      [0,1,1,0],
46
      [0,0,0,0]
47
     ],
48
                                                     // 5:Z型
     49
      [0,0,0,0],
50
      [1,1,0,0],
51
      [0,1,1,0],
52
      [0,0,0,0]
53
     ],
54
                                                     // 6:S型
55
      [0,0,0,0],
56
      [0,1,1,0],
57
      [1,1,0,0],
58
      [0,0,0,0]
59
     ],
60
     // 7:T型
61
      [0,1,0,0],
62
      [0,1,1,0],
63
      [0,1,0,0],
64
      [0,0,0,0]
65
     ],
66
   ];
67
68 const GAME_SPEED = 800;
                                                     //ゲームスピード(0.8秒)
69
70 let tetro = [];
                                                      // 変数 (テトロミノ配列)
71 let tetro_x = 0;
                                                     // 変数 (テトロミノ X座標)
                                                     // 変数 (テトロミノ Y座標)
72 let tetro_y = 0;
                                                     // 変数(ゲーム画面配列)
73 let field = [];
74 let tetro_type;
                                                     // 変数 (テトロミノの型)
75 let game_over = false;
                                                     // 変数(ゲームオーバーフラグ)
76
77 let can = document.getElementById("canvas");
                                                     //キャンバスの取得
78 let con = can.getContext("2d");
                                                     //2dコンテキストを取得
79 can.width = SCREEN_W;
                                                     //キャンバスの横幅を指定
80 can.height = SCREEN_H;
                                                      //キャンバスの縦幅を指定
    can.style.border = "4px solid #555";
81
                                                     //キャンバスの枠線を指定
82
    let timerID = setInterval(droptetro, GAME_SPEED);
83
                                                     //インターバルタイマの設定
84
                                                     //0.8秒毎にdroptetro関数を呼ぶ
85 init();
                                                     //ゲーム初期化
86 drawAll();
                                                     //画面描画
87
```

```
// 関数:フィールドの初期化
 88
    function init(){
 89
      for(let y=0; y<FIELD_ROW; y++)</pre>
 90
 91
      field[y] = [];
 92
      for(let x=0; x<FIELD_COL; x++)</pre>
 93
       field[y][x] = 0;
 94
                                                     //配列fieldを全て「O」
 95
      }
                                                     //ブロック無しに設定する
 96
 97
      tetroTypeSelect();
                                                     /ゲーム開始時のテトロミノを指定
 98
 99
     // 関数:テトロミノをランダムに選択
100 function tetroTypeSelect(){
101
      tetro_type = Math.floor(Math.random()
                                                     //テトロミノをランダムで選択
                  *(TETRO_TYPE.length-1)) + 1;
102
      tetro = TETRO_TYPE[tetro_type];
103
104
     // 関数:ブロックを描画する
105 function drawBlock(x, y, color) {
106
      let px = x * BLOCK_SIZE;
                                                     //ブロック表示位置(x座標)
107
      let py = y * BLOCK_SIZE;
                                                     //ブロック表示位置(y座標)
108
109
      con.fillStyle=TETRO_COLOR[color];
                                                     //ブロックの色を指定
110
      con.fillRect(px,py,BLOCK_SIZE,BLOCK_SIZE);
                                                     //四角を描画
111
      con.strokeStyle = "black";
                                                     //ブロックの枠線を黒にする
112
      con.strokeRect(px,py,BLOCK_SIZE,BLOCK_SIZE);
                                                     //ブロックの枠線を描画
113 }
114
     // 関数:画面全体を描画する
115 function drawAll(){
116
      con.clearRect(0,0,SCREEN_W,SCREEN_H);
                                                     //画面全体を一旦クリアする
117
118
      for(let y=0; y<FIELD_ROW; y++)</pre>
119
120
       for(let x=0; x<FIELD_COL; x++)
121
122
        if(field[y][x])
                                                         落下済みのブロックを表示
123
124
         drawBlock(x, y, field[y][x]);
125
126
       }
127
128
129
      for(let y=0; y<TETRO_SIZE; y++)
130
131
       for(let x=0; x<TETRO_SIZE; x++)
132
       {
133
        if(tetro[y][x])
                                                         落下中のブロックを表示
134
135
         drawBlock(tetro_x + x, tetro_y + y, tetro_type);
136
137
138
```

```
139
                                                      //ゲームオーバーとなったら
140
      if(game_over){
       let str = "GAME OVER";
141
142
       con.font = "40px 'M S ゴシック'";
143
       let w = con.measureText(str).width;
144
       let x = SCREEN_W/2 - w/2;
                                                             画面中央に
145
       let y = SCREEN_H/2;
                                                         「GAME OVER」と表示
146
       con.lineWidth = 4;
147
       con.strokeText(str,x,y);
148
       con.fillStyle = "White";
149
       con.fillText(str,x,y);
150
151
       clearInterval(timerID);
                                                      //インターバルタイマを止める
152
153 }
154
     // 関数:テトロミノが移動可能かを判定する
155
     function checkMove(mx, my, new_tetro){
156
157
      if(new_tetro == null) new_tetro = tetro
                                                      //引数「new_tetro」が指定無しの場合
158
                                                      //変数「tetro」を使う
159
      for(let y=0; y<TETRO_SIZE; y++)</pre>
160
      {
161
       for(let x=0; x<TETRO SIZE; x++)
162
163
        let nx = mx + tetro_x + x;
164
        let ny = my + tetro_y + y;
165
        if(new_tetro[y][x])
166
        {
167
         if(nx < 0)
                                                      //移動する先のx,y座標が
168
           || ny < 0
                                                      //画面外の場合、または
           || nx > = FIELD COL
                                                      //すでにブロックが存在する場合
169
           || ny >= FIELD_ROW
170
           || field[ny][nx]){
171
172
           return false;
                                                      //移動不可と判定
173
174
175
       }
176
                                                      //上の判定以外の場合は
177
                                                      //移動可能と判定
      return true;
178
179
     // 関数:テトロミノを回転させる
180 function rotate(){
181
182
      let new_tetro =[];
183
      for(let y=0; y<TETRO_SIZE; y++)</pre>
184
185
       new_tetro[y] = [];
186
       for(let x=0; x<TETRO_SIZE; x++)</pre>
                                                            現在のテトロミノを
187
                                                              右回転させる
188
        new_tetro[y][x] = tetro[TETRO_SIZE-x-1][y];
189
       }
190
191
      return new_tetro;
192
```

```
193
     // 関数:テトロミノを固定する
194
     function fixtetro(){
195
      for(let y=0; y<TETRO_SIZE; y++)</pre>
196
197
       for(let x=0; x<TETRO_SIZE; x++)
198
199
        if(tetro[y][x])
200
         field[tetro_y + y][tetro_x + x] = tetro_type;
                                                    |//ブロックの形(色)で固定する
202
203
204
       }
205
      }
206
207
     // 関数:ラインを消す
208
    function clearline(){
209
210
                                                     //画面の一番上から検索する
      for(let y=0; y<FIELD_ROW; y++)
211
      {
212
       let line_flg = true;
213
       for(let x=0; x<FIELD_COL; x++)
                                                     //x座標の検索
214
       {
215
        if(!field[y][x])
                                                     //x方向に1つでも空があった場合
216
217
         line_flg = false;
                                                     //そのラインは消せないと判断
218
         break;
                                                     //次のラインの検索を行う
219
        }
220
221
       if(line_flg) {
                                                     //ラインを消す場合
222
        for(let ny = y; ny>0; ny--){
         for(let nx = 0; nx < FIELD COL; nx++){
223
224
          field[ny][nx] = field[ny-1][nx];
                                                     //消す対象のラインに
225
         }
                                                     //その上のラインを上書きする
226
        }
227
228
229
     }
230
     // 関数:テトリスを落下させる
231
    function droptetro(){
232
      if(checkMove(0,1)){
                                                     //落下中のテトロミノが下に移動可能か
233
       tetro_y++;
                                                     //y座標に+1する
                                                     //落下中のテトロミノが下に移動不可
234
      } else{
235
       fixtetro();
                                                     //テトロミノを固定する
                                                     //ラインを消す
236
       clearline();
237
                                                     //次のテトロミノを選択する
       tetroTypeSelect();
                                                     //テトロミノのx方向を初期値に戻す
238
       tetro_x = 0;
239
       tetro_y = 0;
                                                     //テトロミノのy方向を初期値に戻す
240
241
                                                     //テトロミノが移動できない
       if(!checkMove(0,0)){
242
                                                     //ブロックが上まで積みあがった場合
        game_over = true;
                                                     //ゲームオーバーとする
243
       }
244
                                                     //画面全体を描画する
245
      drawAll();
246
```

```
247
248
                                                   //キーイベントを設定
     document.addEventListener('keydown',
                              KeyDownFunc );
     // 関数:キーが押されたときに呼ばれる関数
249
    function KeyDownFunc(e){
250
251
                                                   //ゲームオーバーとなった場合
      if(game_over) return;
252
                                                   //以降の処理は行わない
253
      var key code = e.keyCode;
254
255
      switch(key_code){
256
       case 37: //左に移動
                                                   //左キー「←」を押した
257
        if(checkMove(-1,0))tetro_x--;
                                                   //テトロミノが左に移動可能か
258
        break;
259
                                                   //左キー「→」を押した
       case 39: //右に移動
260
        if(checkMove(1,0))tetro_x++;
                                                   //テトロミノが右に移動可能か
261
        break;
262
       case 40: //下に移動
                                                   //左キー「↓」を押した
        while(checkMove(0,1))tetro_y++;
263
                                                   //テトロミノが下に移動可能か
264
        break;
                                                   //スペースキーを押した
265
       case 32:
266
       ntetro = rotate();
                                                   //テトロミノを回転
267
       if(checkMove(0,0, ntetro)) tetro = ntetro;
268
       break;
269
270
      drawAll();
                                                   //画面全体を描画する
271 }
```